

東北 民俗

6/2024 第58輯

目次

東北民俗の会公開講演会 東北民俗の学び	野本 寛一	1
大崎市松山の岩クド	伊藤 優	15
木伐り木出しの伝承(二) 一木伐り・キンマ出しの手わざ	小田嶋利江	25
気仙川のシロウオ漁	小野寺佑紀	35
ヒラメを求めた旅—福島県新地町の仲買い業者の軌跡—	川島 秀一	45
南部杜氏による「松尾大神碑」建立	丹羽 英二	55
宮城県丸森町の「一代塔」—込める祈りの変遷から—	今野 正巳	65
秋田の三峯山大権現・三峯神社の石碑	石黒伸一郎	75
岩手県一関市域の鹿踊(二)		
—大原山口鹿踊の伝播と特徴整理—	及川 宏幸	85
植物を吊り下げる注連縄	笠原 信男	95
「どんと祭」におけるCOVID-19対策と担い手及び		
来場者たちの見解—『河北新報』掲載記事に注目して—	高橋 嘉代	105
明治・大正期の双葉町ダルマ市—統計資料の分析から—	星 洋和	115
コンテンポラリーなだるまの絵付けにみる		
ヴァナキュラー・アート性	鳥居 建己	125
菅江真澄と蜃気楼	稲 雄次	135
卒論・修論発表会(日本民俗学会談話会共催)の開催		141
2023(令和5)年度東北民俗の会 年次報告		143

東北民俗の会

編集後記

『東北民俗』第五八輯をお届けいたします。

巻頭の野本寛一先生によるご講演に加えて、どれも密度の濃い十三本の論考が寄せられ、非常に充実した一冊が出来上がりました。野本先生、執筆者のみなさまには心より御礼申し上げます。

お気づきのとおり、今回より『東北民俗』投稿規程を掲載することになりました。投稿要件等すでに運用されていた事柄を明文化し、著作権の取り扱いについても明記しました。学術雑誌としての体裁を整え、近い将来における電子的公開をも見据えています。さまざまな利便性や学知の公共化という点では、電子化は避けては通れません。

当然のことながら、『東北民俗』は会員のみなさんの雑誌です。さまざまな研究成果発表の場としてご利用いただくために、少しでもご関心のある方は、編集担当までお気軽にご相談ください。(一)

東北民俗 第五八輯

編集発行

会員配布 (頒価 一〇〇〇円)
令和六年六月十三日 印刷
令和六年六月十四日 発行

東北民俗の会
代表 佐藤 敏悦

980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目一―三
仙台市市民活動サポートセンター内
※事務局を移転しました

E-Mail: jimmu@tohokuminizoku.jp
URL: http://tohokuminizoku.jp/

振替口座 〇二二六〇一二一八三〇七
会費年額 四〇〇〇円
学生会費年額 二〇〇〇円

印刷

北日本印刷株式会社
984-0064 仙台市若林区石垣町三十五一六